

令和7年度第2回 宝達志水町立志桜小学校学校運営協議会議事録

【日時】 令和7年11月28日（金）15時25分～16時00分

【場所】 志桜小学校 2階 図書室

【参加者】（学校運営協議会委員）5名

山下委員、美作委員、前田委員

坂本委員、中村委員

（志桜小学校）宮下校長、西教頭、八島先生、岡嶋先生、亀井先生

（宝達志水町地域学校協働活動推進員）山崎推進員

（町教育委員会）生涯学習課 瀧平課長補佐

学校教育課 西住主任

1 開会あいさつ ※山下会長

2 協議

（1）学校経営方針の進捗状況

①学力調査について ※八島先生

②学校研究について ※岡嶋先生

③生徒指導について ※亀井先生

（2）令和7年度

宝達志水町立志桜小学校地域学校協働活動進捗状況報告書について＜資料1＞

（3）CSだよりについて＜資料2＞

※（2）（3）を一括して、山崎推進員が資料に基づき説明した。

- ・主な活動として、CSマイスター講演会、ボランティア用ビブスの配布、田植え、稲刈り、ミシン学習指導補助等を行った。
- ・登下校の見守りや草刈り、学校図書の整理、花壇の手入れ等、より良い学校づくりのため、学校支援ボランティアを募集している。

（4）CS研修会参加者アンケートについて＜資料3＞

※生涯学習課 瀧平課長補佐が資料に基づき説明した。

- ・講演のわかりやすさについて、「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」の回答が97%であり、内容への高い満足度が示された。
- ・CSの推進について、参加者全員より「大いにそう思う」「概ねそう思う」と肯定的な回答が寄せられた。
- ・上記の結果より、本研修会はCSの意義や目的についての共通理解を図るという初期の目的を十分に達成し、参加者の意欲を高めるという点で、大きな成果があったと評価している。

- ・多くの回答で、C S の理念及び活動内容に対する理解を示す声が寄せられた。また、C S を自分事として捉え、決して受動的ではなく、主体的に関わろうとする意識が示された。
- ・一方で、実践段階での不安や戸惑いを示す声も少なくなく、C S を長期的なプロセスとして理解し、焦らず時間をかけて進めることへの共通認識が図られた。
- ・今後は、この高まった意欲を、いかに具体的なアクションに結びつけていくかが課題となる。志桜小学校と地域との現状に即した具体的な活動内容や、無理のない持続可能な体制づくりに焦点を絞り、議論を進めていくことが必要であると感じた。

3 その他

(1) 学校運営協議会評価について

(2) 校区内における児童の外出について

(3) その他

- ・ボランティアの皆さんが話し合いをできる会議を開催予定。（来年2月頃）
- ・第3回学校運営協議会：令和8年2月27日（金）

4 閉会あいさつ ※山下会長

令和7年度第2回宝達志水町立志桜小学校学校運営協議会 次第

日時 令和7年11月28日（金）午後15時25分から

場所 志桜小学校 2階 図書室

1 開会あいさつ

2 協議

（1）学校経営方針の進捗状況

①学力調査について ②学校研究について ③生徒指導について

（2）令和7年度宝達志水町立志桜小学校地域学校協働活動進捗状況報告書について

<資料1>

（3）CSだよりについて <資料2>

（4）CS研修会参加者アンケートについて <資料3>

3 その他

（1）学校運営協議会評価について

（2）校区内における児童の外出について

（3）その他

4 閉会あいさつ

配付資料

資料1 令和7年度宝達志水町立志桜小学校 地域学校協働活動進捗状況報告書

資料2 志桜小CSだより令和7年度第2号

資料3 CS研修会（志桜小）参加者アンケート結果

令和7年度宝達志水町立志桜小学校学校運営協議会名簿（敬称略）

○学校運営協議会委員

会長	山下 茂
副会長	橋本 衛
委員	大窪 祐宣
委員	坂本 邦夫
委員	杉中 由美子
委員	前田 菜穂
委員	美作 恭子
委員	中村 清経

○宝達志水町地域学校協働活動推進員

推進員	山崎 映人
-----	-------

○志桜小学校

校長	宮下 慶子
教頭	西 勝也

○宝達志水町教育委員会

教育長	細江 孝
学校教育課 課長	浜坂 浩幸
学校教育課 担当課長	杉谷 靖史
学校教育課 主任	西住 真海
生涯学習課 課長	松浦 賢也
生涯学習課 課長補佐	瀧平 幸恵
生涯学習課 主事	岡崎 優希